

北海道の印刷

PRINTING INDUSTRY IN HOKKAIDO

6

第841号

2026年6月10日発行

北海道の難読地名

美利河

難読レベル

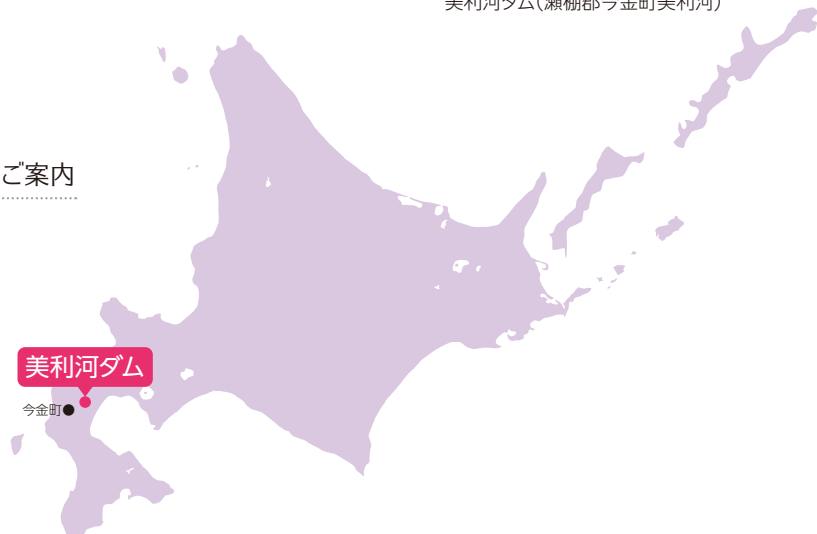
★★★★☆



美利河ダム(瀬棚郡今金町美利河)

CONTENTS

- 3~5 令和8年度通常総会開催される
- 5 令和8年度上期北海道地区印刷協議会開催のご案内
- 6 新役員のご紹介
- 7・8 令和8年度事業計画が決定される
- 9 2026全日本印刷文化典沖縄大会のご案内
- 10 賃上げ環境整備補助金2026のご案内



北海道印刷工業組合

〒062-0003 札幌市豊平区美園3条5丁目1番15号 原ビル

TEL.011-595-8071 / FAX.011-595-8072

[Website] <https://www.print.or.jp> [E-mail] info@print.or.jp



P-00023

この印刷物は、CSRに取り組み印刷会社が製作した印刷物です。

令和8年度通常総会開催される

令和8年度通常総会が、5月19日午後3時30分から札幌市中央区の札幌パークホテルで全道から組合員71人（代理人出席を含む）が出席して開催され、令和7年度事業報告・同収支決算を承認し、令和8年度事業計画・同収支予算を決定し、任期満了による役員の変更が行われ理事15人と監事2人を選任した。



岸 昌洋氏

最初に、岸昌洋理事長が、来賓・組合員に参加のお礼を述べたあと、「今日は総会ということで本年改選期になる。この1年間どのような活動を組合として行ってきたかという報告と、皆さんに慎重に審議いただいて役員改選とい

うことになるのでよろしくお願いする。コロナもあったが、ずうっと我々の諸資材、人件費が上げ止まらないというか、ますます緊迫した状況になっている。ここに来て世界情勢もかなり不安定ということで、我々の諸資材にかなり関係する。もしくは皆さんの、家庭生活に大打撃を与えるような出来事が起こっている。先週、瀬田全印工連会長とこのことについて話をする機会があり、全印工連としては経済産業省、中小企業庁へ政治連盟を通して対策を練っていくことになる。来週、全印工連の総会があるので、そこでさまざま議論がされることになる。如何せん我々一企業、一個人の努力ではどうにもならない状況が続いており、これからも続く。こういう時こそ組合という組織を皆さん活用いただいて、我々、北印工組も真摯に対応するかたちをとっていくのでこれからも引き続きよろしくお願いしたい」とあいさつを述べた。

次に来賓3人の紹介が行われたあと、2人の来賓から祝辞が述べられた。



藤田真理子氏

藤田真理子経済産業省北海道経済産業局地域経済部次長は、「岸理事長はじめ組合員におかれては長年にわたり道内印刷業の発展に尽力され、私たちの生活や地域経済を支えて来られてきたことに心より敬意を表す。日本経済に目を向

けると設備投資や賃上げは比較的高い水準を保っている一方で中東情勢の影響が大変懸念されている。原油や印刷インキ等の原料となる石油製品については備蓄の放出や代替調達によって必要な量は確保されているが、一部に生じている供給の偏り、流通の目詰まりについては順次解消に取り組んでいる。北海道経済産業局においては情報提供窓口を設けて皆さんからの相談を受け付けているので是非、気軽に相談いただければと思う。皆さんは原材料費や物流コスト上昇、そして慢性的な人手不足により経営環境は厳しさを増していることと思う。そのようななかで貴組合で



は生成AIに関する研修を実施されるなど新しい技術を積極的に取り入れられていることを大変心強く感じている。皆さんがこれまで培ってこられた企画力、デザイン力、地域に根ざしたネットワークに、こうしたデジタル技術を組み合わせることで新たな価値が生まれ地域経済のさらなる活性化につながっていくものと期待している。当局においてもAIなどデジタルツール導入に関する制度を用意しているので是非活用いただければと思う。さらに地域経済を支えている皆さんが厳しいなかでもしっかりと収益を伸ばしていただけよう4月によろず支援拠点内に生産性向上支援センターを新たに開設し、専門家による伴走支援などを通じて生産性向上の取り組みを後押しし、取引の適正化を通じて適切な価格転嫁や賃上げができる環境づくりを進めていきたい」と述べた。



茶谷智子氏

茶谷智子北海道経済部産業振興局産業振興課長は、「岸理事長はじめ組合員の皆さんには日頃から道政の推進について格別の理解と協力を賜りお礼を申し上げる。貴組合におかれては、経営改善や人材育成、労働環境整備などの取り組み

を積極的に行われ、本道の印刷産業の発展に大きく貢献されていることに深く感謝を申し上げます。本道においては次世代半導体の製造拠点整備、アジア最大級のAIデータセンターの建設など新たな産業の集積が急速に進んでおり、本道経済のさらなる発展が期待される。一方、今般の中東情勢の悪化による原油価格の高騰に伴い道内でもさまざまな影響が顕在化してきており、ガソリン・重油などの燃料価格の高騰、石油化学製品の調達への影響、さらには電気料金の高騰が続くと多くの産業活動や企業経営に影響が及ぼさ

れることが懸念される。こうしたなか、道では賃上げ環境整備補助金を今年度創設した。エネルギー価格高騰など厳しい経営環境のなか中小・小規模事業者の方々のデジタル技術導入や設備投資による生産性の向上等に使える補助金になっている。持続的な賃上げに踏み出せる環境の整備を支援するものになっている。申請要件は比較的簡素・簡便なものになっている。5月15日から申請受付を行っているので是非活用を検討いただけると幸いである。本日、知事が関係省庁や関係国会議員へ訪問し、原油価格高騰の緩和策やエネルギー・石油化学製品の安定供給の確保、中小企業への支援を要請している。今後も状況に応じて適切に対応していく」と述べた。

次に、定数報告が行われ、植平有治氏(植平印刷株式会社代表取締役社長・旭川支部)を議長に選出し、議長から議事録書名人に坂野茂義氏(有限会社旭川坂野代表取締役・旭川支部)と岡部信吾氏(北陽ビジネスフォーム株式会社代表取締役社長・札幌支部)の2名を指名し、議事に入った。



植平有治議長

第1号議案令和7年度事業報告について、第2号議案令和7年度決算(案)について、監査報告が一括上程され、議案説明のあと、細木俊明監事から会計処理・内容は適切である旨の監査報告が行われ、審議の結果、いずれも原案どおり承認された。

令和7年度決算額は、収入総額が16,917,098円で、当期純損失金額606,846円を計上し、令和7年度末(令和8年3月31日)の正味財産は、19,884,246円をなした。

剰余金処分案として、当期純損失金額606,846円を、前期繰越剰余金14,510,092円から填補し、13,903,246円を次期繰越剰余金とすることが承認された。

また、本部・支部合算の貸借対照表・損益計算書についても承認された。

第3号議案令和8年度事業計画(案)について、第4号議案令和8年度収支予算(案)について、第5号議案令和8年度組合員の賦課金額および徴収方法の決定(案)について、第6号議案第34回北海道情報・印刷文化典札幌/小樽大会の負担金額について、第7号議案常勤役員の報酬(案)についてが一括上程され、審議の結果、いずれも原案どおり決定された。

令和8年度事業計画は、これまで培ってきた事業の成果と実績を踏まえ、「第34回北海道情報・印刷文化典札幌/小樽大会の開催」、「組織の拡大」、「広報活動の強化」、「未来を創る業界運動の展開」、「印刷の月」行



事の取り組み」、「共済事業への加入促進」、「福利厚生事業の実施」、「組織・財政状況の検討」を柱とした各種事業を、組合員企業の繁栄と発展のため積極的かつ強力に推進し、印刷産業がDXで世の中をより便利にするため、地域に根差し人々の暮らしを彩り、幸せを創る印刷産業として発展するため積極的に推進していくことが決定された。

令和8年度収支予算は、北海道情報・印刷文化典事業経費等を含め前年度決算額を4,282,902円増額した21,200,000円を計上した。

令和8年度組合員の賦課金額及び徴収方法は、組合員各社からの売上額自主申告による20ランク制として、当月賦課金を当月末までに所属支部の指定預金口座に払い込むことを決定した。

第34回北海道情報・印刷文化典札幌/小樽大会の負担金額は、負担金額を北海道情報・印刷文化典確認事項に基づき1社12,000円とし、永年勤続優良従業員表彰負担金を30年以上勤続は5,000円、20年以上勤続は4,000円、10年以上勤続は3,000円と決定した。

常勤役員の報酬は、原案どおり決定した。

第8号議案令和8年度借入金の最高限度額(案)については、運転資金として500万円と決定した。

第9号議案支部規約の一部改正(案)については、支部規約第2条に規定している支部について、南空知支部が令和6年度末に全社脱退し組合員が不在であり、北空知支部は長期間にわたり組合員が1社であり支部活動が行われていなく本部からの直接の運営であることから、南空知支部と北空知支部を廃止し、北空知支部組合員は本部直轄とすることが決定された。

第10号議案任期満了による役員の改選については、選考委員による指名推選により役員の選挙が行われ、理事15人と監事2人が選出された。(役員の氏名は6頁に掲載)

次に報告事項に移り、令和7年度加入組合員(1社)、脱退組合員(6社)、令和8年度期首新規加入組合員(3社)について報告が行われた。

総会を休会し、新理事・監事による理事長選出の理

事会が開催され、理事長に岸昌洋氏(株式会社正文舎代表取締役・札幌支部)を再選し、総会で発表された。

岸理事長から、「理事長に再任されました。よろしくお願ひします。我々業界・業態は非常に厳しい状況が続いている。こういう時だからこそ組合としての役割が何なのかということを改めて考えて、新執行部で皆さんの役に立てるようにしていきたい。心機一転、頑張るのでよろしくお願ひします」と、再任にあたっての



感謝状を受ける植平有治氏

あいさつが述べられた。

以上で、総会の議事をすべて終了し、植平議長が降壇した。

このあと、本総会をもって役員を退任した植平有治氏(植平印刷株式会社代表取締役社長・旭川支部)、細木俊明氏(株式会社プリコム旭川代表取締役社長・旭川支部)の2人に岸理事長から感謝状が贈られ、令和8年度通常総会を終了した。



感謝状を受ける細木俊明氏

令和8年度上期北海道地区印刷協議会開催のご案内

北 海道印刷工業組合は、組合員へ事業のより詳細な紹介、濃密な情報の伝達等を目的に、北海道地区印刷協議会で、組合員と双方向の情報交流を行っている。

そのために、組織活性化、経営革新マーケティング、教育研修、サステナビリティ・CSR、青年部の5委員会活動を北海道地区印刷協議会において実施している。

組合員ならびに賛助会員の皆様には、北海道地区印刷協議会においていずれかの委員会にご参加いただき、対面式で活発なディスカッションを行っていただき、企業経営の永続・発展のための情報を共有いただきたい。

組合に加入しているメリットは、組合の事業に積極的に参加し、利用することから生まれ、享受が可能となる。

記

-
1. 日 時 令和8年6月26日(金) 14:00~18:40
 2. 会 場 札幌パークホテル(札幌市中央区南10条西3丁目)
 3. スケジュール
 - 14:00~15:00 全体会議
 - ①理事長あいさつ 北海道印刷工業組合理事長 岸 昌洋
 - ②全印工連あいさつ 全日本印刷工業組合連合会副会長 福田浩志氏
 - ③全印工連事業概況説明
 - ④組合をひとつにつなぐ新プラットフォーム[j-CONNECT]について
 - ⑤官公需対策について
 - 15:10~16:10 分科会(委員会)
 - ①組織活性化委員会 ②経営革新マーケティング委員会 ③教育研修委員会
 - ④サステナビリティ・CSR委員会 ⑤青年部委員会
 - 16:15~17:00 総括会議
 - ①分科会(委員会)協議内容発表 ②理事長総括 ③全印工連感想所見
 - 17:10~18:40 情報交流会(懇親会)

新役員決まる

理事長に岸 昌洋氏を再選

北海道印刷工業組合は、5月19日、令和8年度通常総会を開催し、任期満了による役員の変更を行い、新しく理事15人と監事2人を選任した。

これを受けて、令和8年度第2回理事会を開催し、理事長に岸昌洋氏(株式会社正文舎代表取締役・札幌)、副理事長に大和繁樹氏(株式会社ヒロミ産業代表取締役社長・札幌)、岡部信吾氏(北陽ビジネスフォーム株式会社代表取締役社長・札幌)、田村総司郎氏(株式会社総北海代表取締役・旭川)、専務理事に伊藤克義氏(専従)を選任した。

さらに、顧問6人を選任した。



岸 昌洋
理事長



大和繁樹
副理事長



岡部信吾
副理事長



田村総司郎
副理事長



伊藤克義
専務理事



齊藤満生
組織活性化委員長



下國延彦
教育研修委員長



杉川 真
青年部委員長

役員

理事長

副理事長・経営革新マーケティング委員会委員長

副理事長・サステナビリティ・CSR委員会委員長・札幌支部長

副理事長・旭川支部長

専務理事

理事・組織活性化委員会委員長

理事・教育研修委員会委員長

理事・青年部委員会委員長

理事・小樽支部長

理事・オホーツ支部長

理事・十勝支部長

理事・苫小牧支部長

理事

理事

理事

監事

監事

岸 昌洋 ■(株)正文舎・札幌

大和繁樹 ■(株)ヒロミ産業・札幌

岡部信吾 ■北陽ビジネスフォーム(株)・札幌

田村総司郎 ■(株)総北海・旭川

伊藤克義 ■専従

齊藤満生 ■(株)東和プリント・札幌

下國延彦 ■(株)シモクニ・札幌

杉川 真 ■稚内印刷(株)・本部直轄

米澤正喜 ■米沢印刷紙業(株)・小樽

横田康裕 ■横田印刷(株)・オホーツク

角 高紀 ■とかち印刷組合・十勝

山田新一 ■北光印刷(株)・苫小牧

矢吹英俊 ■(株)ホクラミ・札幌

前田憲之 ■(株)パスカル・プリンティング・札幌

成瀬和之 ■(株)ネクストソリューションズ・旭川

加藤憲一 ■(有)加藤印刷・札幌

新田君子 ■(株)旭川アートプロセス・旭川

顧問

板倉 清 ■(株)アイテックサプライ・札幌

植平有治 ■植平印刷(株)・旭川

岡部康彦 ■北陽ビジネスフォーム(株)・札幌

木野口 功 ■(株)アイワード・札幌

高木哲朗 ■稚内印刷(株)・本部直轄

松井 丈 ■(株)北研社・オホーツク

北海道印刷工業組合「令和8年度事業計画」が決定

北海道印刷工業組合の令和8年度事業計画が、5月19日に開催された令和8年度通常総会において決定された。

I. 基本方針

北海道印刷工業組合は、これまで培ってきました事業の成果と実績を踏まえ、本年度も「第34回北海道情報・印刷文化典札幌/小樽大会の開催」、「組織の拡大」、「広報活動の強化」、「未来を創る業界運動の展開」、「印刷の月」行事の取り組み、「共済事業への加入促進」、「福利厚生事業の実施」、「組織・財政状況の検討」の8本を柱とし、印刷産業がDXで世の中をより便利にし、地域に根差し人々の暮らしを彩り、幸せを創る産業として存続しつづけ、組合員企業の繁栄と永続のため、各種事業を工夫を凝らし積極的かつ強力に推進・展開して参ります。

主な活動内容は次のとおりです。

第34回北海道情報・印刷文化典札幌/小樽大会を、8月21日に、34回という長い歴史のなかで、初めて2つの支部が連携して小樽市で開催します。

全道の組合員・賛助会員ならびに関係各位が一堂に会し、直面する課題を共有し、解決策を見出し、経営基盤の安定強化を図り、親睦を深め、連携をより強固にし、世の中が大きな転換点を迎えているなかで、必要とされる印刷産業としての確立を図る契機として参ります。

組織の拡大では、組合組織の根幹となる組合員の加入増強に組合員各位の協力を得て推進して参ります。併せて、関連業者等との連携をより濃密にするため賛助会員の加入促進に努めて参ります。

広報活動の強化では、「北海道の印刷」ならびに「メールマガジン」を定期発行し、組合の活動状況や行政のうごき、全国的な業界動向、技術情報などを提供して参ります。

未来を創る業界運動の展開では、経営改善運動の推進、全印工連DX事業の啓発・推進、取引慣行改善運動の推進、人材育成研修会の開催、労働環境整備の啓発、環境保全適応の啓発、幸せな働き方改革の推進、メディア・ユニバーサルデザインの普及・啓発等に取り組んで参ります。

経営者研修会は、経営基盤の安定と確立、さらなる発展を図るために時宜を得たテーマで開催します。

人材育成研修では、オフセット印刷およびDTP技能検定の受検啓発、印カレラーニングの受講啓発等に努めるとともに、営業マン向け研修会を開催して参ります。

経営改善、取引慣行改善、人材育成、小規模経営対策、労働環境整備、環境保全適応、幸せな働き方改革、対外アピール、バリアフリーへの対応など各種事業を積極的に推進し、組合の事業の活性化ならびに社会へ

の貢献に努めて参ります。

共済事業への加入促進では、全印工連の福利厚生充実のための共済と北印工組独自の組合員企業の経費削減の一助に資するための団体扱自動車保険・火災保険・給油事業・プリントリバースα事業の加入促進を積極的に推進するとともに新電力およびビジネス総合保険・サイバーセキュリティ保険の紹介事業の推進に取り組んで参ります。

「HOPE2026」は、出展者と来場者がコミュニケーションを図り、情報発信と学びの場としてより有意義に活用できるように努めて参りますので、多くの方々の来場を期待しています。

組合員のための福利厚生事業を継続実施して参ります。

組織・財政状況の検討では、早期に健全な財政状況を確立するため各種の検討を行い、対策を模索して参ります。

本年度も組合員の連携を一層深め、印刷産業人として業界秩序を守り、高度情報化産業の一翼を担う自信と矜持をもって事業を推進して参りますので、是非、一人でも多くの組合員の皆さまに組合事業に積極的に参加いただき、情報を共有され、メリットを享受し、各社の持続的な発展・繁栄のための糧としていただきたいと存じます。

関係諸官公庁・各機関をはじめ、関連業界の皆さんのご理解とご支援をお願いし、組合活動の円滑な推進を図って参ります。

II. 実施事業

1. 第34回北海道情報・印刷文化典札幌/小樽大会の開催

第34回北海道情報・印刷文化典札幌/小樽大会を、8月21日に小樽市で開催する。

全道の組合員・賛助会員ならびに関係各位が一堂に会し、直面する課題を共有し、解決策を見出し、経営基盤の安定強化を図り、親睦を深め、連携をより強固にし、世の中が大きな転換点を迎えているなかで、必要とされる印刷産業としての確立を図る契機とする。

- (1) 記念式典の開催
- (2) 記念講演の開催
- (3) 記念パーティの開催

2. 組織の拡大

組合組織の根幹となる組合員の拡大運動を実施し組織率を高めるとともに、青年部の活動を活発にし、組合活動の活性化に努める。

また、賛助会員の加入促進にも努める。

- (1) 組合への加入促進

- (2)賛助会員の加入促進
- (3)青年部活動の活性化
 - ①全青協北海道ブロック協議会・第31回北海道青年印刷人フォーラムの開催
 - ②全印工連全青協への議員派遣
- (4)組合員名簿の発行
- (5)組合員台帳調査の実施
- (6)情報プラットフォーム「J-CONNECT」の啓発
- (7)関連業界との連携強化

3. 広報活動の強化

広報紙を定期刊行し、組合の活動状況や行政の動き、全国的な業界動向、技術情報などを広報するとともにメールマガジンを発行し、情報化時代にふさわしい広報活動に努める。

- (1)「北海道の印刷」の発行
- (2)メールマガジンの発行
- (3)ホームページの充実・活用

4. 未来を創る業界運動の展開

印刷需要の多様化、少ロット化、短納期化などの市場変化や経営管理のコンピュータ化、デジタル技術の進展等の環境変化に機敏に対応できる業界づくりを進めるため、経営改善、取引慣行の改善運動を進めるとともに、教育研修事業、労働環境の整備事業、環境保全への対応、幸せな働き方改革の啓発、DX事業の啓発・推進、経営管理電子化への取り組みを軸とする小企業経営対策などを積極的に推進する。

- (1)経営改善運動の推進
 - ①経営者研修会の開催
 - ②CSRの啓発
 - ③日本印刷個人情報保護体制認定制度(JPPS)の啓発、中間講習会の開催
 - ④全印工連特別ライセンスプログラムの啓発
 - ⑤全印工連人材採用支援特別プラン「イーアイテム」の啓発
 - ⑥全印工連事業承継支援センター利用促進の啓発
- (2)全印工連DX事業の啓発・推進
 - ①経営情報システム「BRAIN」の普及・啓発
- (3)取引慣行改善運動の推進
 - ①官公庁取引の研究
 - ②官公需における知的財産権の財産的価値配慮の促進
 - ③諸資材取引の研究
 - ④全印工連クラウドバックアップサービスの啓発
 - ⑤全印工連ログ監視装置「マイウォッチャー」の啓発
- (4)人材育成研修会の開催
 - ①オフセット印刷技能検定(実技試験)の実施
 - ②DTP技能検定(実技試験)の実施
 - ③「印カレ」利用促進の啓発
 - ④印カレラーニング受講の啓発
 - ⑤印刷営業講座(オンライン)受講の啓発
 - ⑥営業マン向け研修会の開催
- (5)労働環境整備の啓発

- (6)環境保全適応の啓発
 - ①グリーンプリンティング工場認定の啓発
 - ②環境経営印刷ネットワークの啓発
 - ③環境推進工場登録の啓発
- (7)幸せな働き方改革の啓発、推進
 - ①ペーパーサミットJAPANの啓発
- (8)メディア・ユニバーサルデザインの普及・啓発
 - ①第20回メディア・ユニバーサルデザインコンペの作品応募の啓発
 - ②MUDフェア2026の啓発

5. 「印刷の月」行事の取り組み

印刷業界のイメージアップと社会貢献のため「印刷の月」行事を展開する。

- (1)HOPE2026の開催
- (2)各支部での取組の推進

6. 共済事業への加入促進

全印工連共済事業は、組合員の相互扶助の精神に基づいて組合員企業の福利厚生向上とともに各都道府県工組の財政に寄与することを目的に推進されており、周知を図り、加入促進を積極的に進めていく。併せてワンプライス中古車リース事業の周知を図る。

また、組合員企業の経費削減の一助として北印工組独自の共済である集団扱自動車保険事業、集団扱火災保険事業、集団扱給油事業ならびにプリントリバースα事業の周知を図り加入促進を積極的に進めていくとともに新電力およびビジネス総合保険・サイバーセキュリティ保険紹介事業を推進していく。

さらに、新しい共済制度の研究、取り組みを進めていく。

- (1)生命共済事業
- (2)災害補償共済事業
- (3)設備共済事業
- (4)医療・がん・介護共済事業
- (5)集団扱自動車保険事業
- (6)集団扱火災保険事業
- (7)集団扱給油事業
- (8)プリントリバースα事業
- (9)ワンプライス中古車リース事業
- (10)新電力紹介事業
- (11)ビジネス総合保険紹介事業
- (12)サイバーセキュリティ保険紹介事業
- (13)新共済制度の研究・取り組み

7. 福利厚生事業の実施

- (1)組合員の慶弔金等

8. 組織・財政状況の検討

組合組織の活性化、合理化と組合財政の早期の健全化に向けての各種の検討を行う。

2026全日本印刷文化典沖縄大会のご案内

全日本印刷工業組合連合会は、「2026全日本印刷文化典沖縄大会」を、10月16日・17日に沖縄県那覇市の沖縄ハーバービューホテルで、「ゆいまーるの心」文化を刻み 未来を彩る」をテーマに開催する。

テーマの「ゆいまーる」は、沖縄に古くから根付く、「相互扶助・支え合い」の精神を指す。

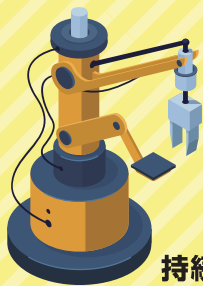
本文化典は、全国の印刷人が一堂に会し、印刷業界の直面する課題を議論する重要な機会となっている。



プログラム	10月15日(金)	記念ゴルフ大会 7:00スタート
		コース：那覇ゴルフ倶楽部(沖縄県島尻郡八重瀬町富盛2270)
		参加費：10,000円(送迎ならびに賞品代を含む)
		利用料金：20,000円(1R税込、キャディ・乗用カート付料金)
	10月16日(土)	13:30 記念式典
		14:45 全印工連メッセージ
		15:45 記念講演
		18:30 記念パーティ
		会場：沖縄ハーバービューホテル(沖縄県那覇市泉崎2-46)
		登録料：10,000円 記念パーティ参加費：15,000円
10月17日(日)	9:30 全印工連フォーラム 会場：沖縄ハーバービューホテル	
	12:00 エクスカーション	
	A.南部コース／旅行代金15,400円	
	12:15 昼食(沖縄ハーバービューホテル)→13:00 沖縄空手会館「入場・瓦割り体験」→15:20 忠孝酒造→16:50 那覇空港→17:20 沖縄ハーバービューホテル	
	B.首里城コース／旅行代金14,000円	
	12:15 昼食(沖縄ハーバービューホテル)→13:05 首里城公園→14:45 瑞泉酒造「泡盛酒造見学」→16:15 那覇空港→16:45 沖縄ハーバービューホテル	
	C.平和祈念コース／旅行代金14,000円	
	12:15 昼食(沖縄ハーバービューホテル)→13:25 平和祈念資料館→14:45 まさひろ酒造「泡盛酒造見学」→16:00 道の駅いとまん→17:10 那覇空港→17:40 沖縄ハーバービューホテル	
	※3コース共通 定員40名／最少催行人数20名	

参加いただける方は、参加申込書をお送りしますので、**7月10日(金)**までに、北海道印刷工業組合までご連絡ください。
電話011-595-8071 【E-mail】info@print.or.jp

道内の中小・小規模企業の皆様へ



賃上げ環境 整備補助金 2026 ご案内



中小・小規模企業賃上げ環境整備等支援事業費補助金

中小・小規模事業者の生産性向上や販路拡大等を図り、持続的な賃上げに踏み出せる環境を整備するため、経営改善に資する経費を支援します。

補助対象者	道内の中小・小規模事業者等	
申請区分 ^{※1}	通常枠 (賃上げ率 > 0%)	促進枠 (賃上げ率 4% 以上)
補助率	1/2	3/4
補助上限額	200万円	300万円
申請要件	パートナーシップ構築宣言の登録・公表企業 ^{※2}	
対象経費	機械装置・システム等費、クラウド使用料、広報費、展示会等出展費、開発費、 専門家費用、委託費、外注費、研修費など ※2026(令和8)年2月20日以降に要した上記経費が対象	

※1 2025(令和7)年12月時点と比較し、事業終了時点までに賃上げを実施。

※2 パートナーシップ構築宣言ポータルサイト(<https://www.biz-partnership.jp/>)への登録。公表までに時間を要しますので、早めにご登録ください。

公募開始

(令和8)
2026年5月15日[金]

公募締切

予算上限に達し次第終了します。 ※なお、受付期間は2026(令和8)年9月30日[水]までとし、当該期日をもって受付を終了します。

申請方法

電子申請 または 郵送申請

- 下記専用ホームページから電子申請ができます。お問合せや書類の追加提出がスムーズな電子申請をご利用ください。
- 申請書の書き方が分からない場合は、申請の手引をご確認いただくか、下記コールセンターにご相談ください。

賃上げ環境整備補助金2026事務局

※2026(令和8)年5月15日[金] 10:00開局

専用ホームページは
こちら

コールセンター

[受付時間:平日 9:00~18:00]

TEL.011-351-0047

専用ホームページ

<https://chinage-support2026-hokkaido.jp/>



HOPE 2026

HOKKAIDO PRINT EXPO

DX共創・デジタル革命

印刷は儲かるビジネス、紙メディアの魅力デザインする

日時

2026年

9月2日(水)・3日(木)

10:00~17:00 (3日は16:00終了)

会場

アクセスサッポロ

札幌市白石区流通センター4丁目3番55号

主催

HOPE実行委員会

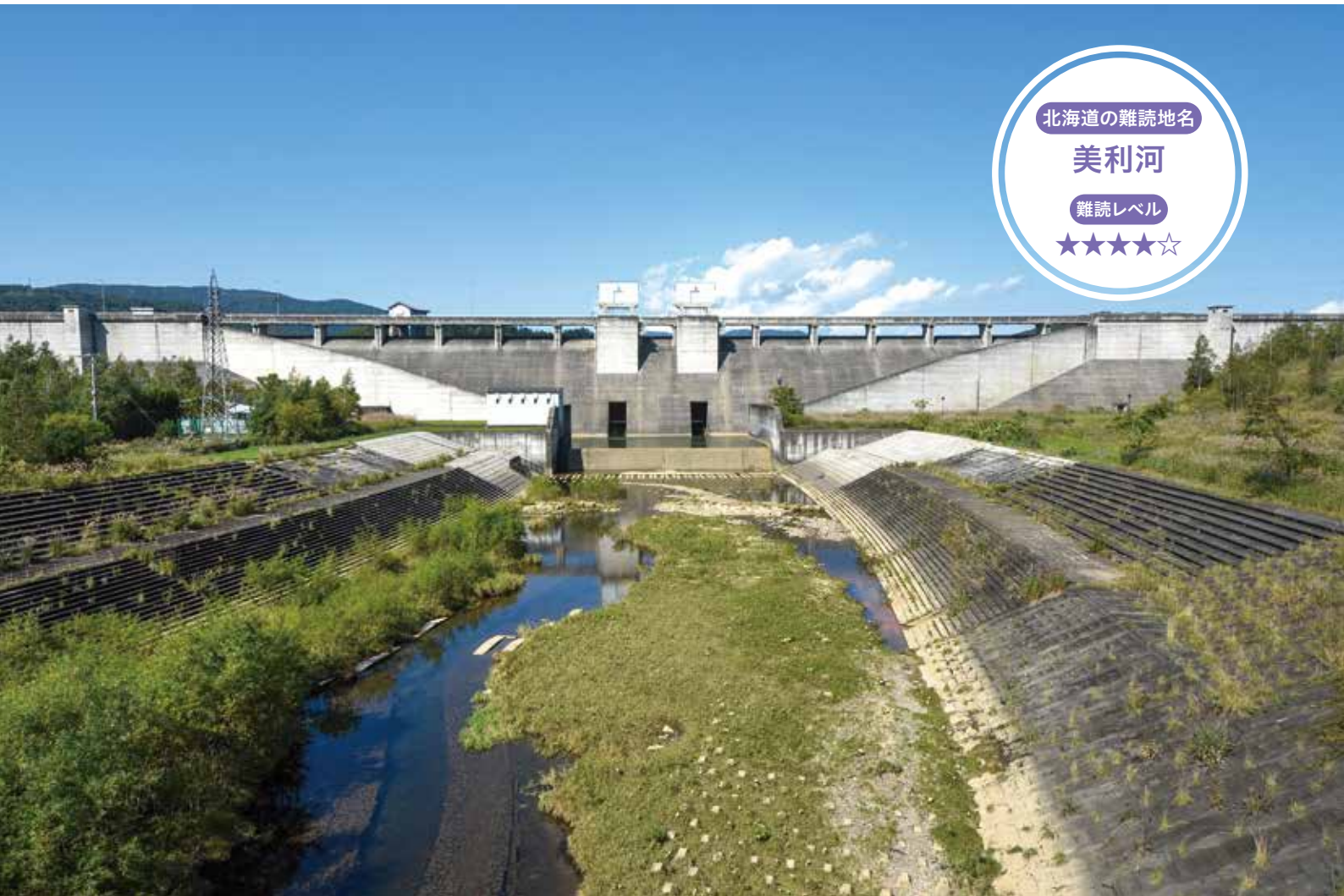
北海道印刷工業組合
北海道グラフィックコミュニケーションズ工業組合
北海道製本工業組合・北海道フォーム印刷工業会
北海道紙器段ボール箱工業組合

後援

経済産業省北海道経済産業局・北海道・札幌市
北海道中小企業団体中央会・札幌商工会議所
一般社団法人北海道中小企業家同友会
一般社団法人日本グラフィックサービス工業会

協賛

株式会社印刷出版研究所
ニュープリンティング株式会社
印刷タイムス株式会社



北海道の難読地名

美利河

難読レベル

★★★★☆

美利河ダム(瀬棚郡今金町美利河)



表紙の解説
<p>美利河 (びりか)</p> <p>アイヌ語のピリカ・ベツ(pirka-pet)=[美しい川・良い川]の意。</p> <p>美利河ダムは何度も「水質日本一」に輝いた清流「後志利別川」の上流に位置している。</p>

難読レベル	
★★★★☆	道外の方でも読める
★★★★☆	道民のほとんどが読める
★★★★☆	道民の半分くらいが読める
★★★★☆	道民でもほとんど読めない
★★★★☆	地域住民以外は読めない
※難読レベルは北海道印刷工業組合独自の基準です。	